

Next Stage

ネクスト

ステージ

Saitama
Support
Magazine

(財)さいたま市産業創造財団

CONTENTS

2 **さいたま市産業創造財団が誕生！**
理事長あいさつ「燃える集団」

4 **財団役員はこんな人です**
10問10答インタビュー

6 **さいたま市産業創造財団って？**
支援メニューを徹底紹介

8 **インフォメーション**
・セミナー案内
・財団ホームページ

創刊号
2004



さいたま市 産業創造財団が 誕生！

理事長あいさつ

燃える集団

財団法人さいたま市産業創造財団理事長 江田 元之



平成13年5月1日の3市合併により100万都市として誕生したさいたま市は、平成15年4月1日に政令指定都市へと移行し、関東圏域を牽引する中枢都市としてさらなる発展を目指しています。

少子高齢化の進行、価値観の多様化、情報技術の進展、経済のグローバル化等、産業を取り巻く環境が大きな転換期に直面している状況の中、さいたま市が平成15年度に策定した「さいたま市産業振興ビジョン」においては、市の産業振興の基本目標を「強い産業力の醸成と躍動する都市づくり」とし、この目標達成のため「新たな産業核心をつくる(コア産業の育成)」「新たな産業の担い手と活躍の舞台をつくる」「知を育み創造産業を育成する」「質の高い生活をサポートする」「持続可能な都市をつくる～環境と産業の共生～」の5つを基本方向として、企業と行政のコラボレーションによる産業振興を図るとされております。

財団法人さいたま市産業創造財団は、市の産業振興ビジョンに示されたこの基本目標と5つの基本方向を推進する

ためのエンジン(実行部隊)としての機能を受け持つために、本年3月18日に、さいたま市の出資により設立され、4月1日から業務を開始いたしました。

変革の時代を迎え、地域資源の活用を通して、既存の殻を打ち破り、産業力・地域力をつけることが求められています。産業創造財団の使命は、さいたま市が持っている人的ポテンシャル、立地ポテンシャル、機能集積ポテンシャルを最大限に生かし、産業振興に寄与することだと心得ております。今後、産業創造財団はさいたま市の産業振興施策の考え方に沿って、企業、大学、関連行政機関と連携する中で、企業間ネットワーク・産学連携の促進を図り、また民間専門家の方々の協力を得て、企業の経営革新、活性化等様々な経営課題に対する支援や創業を目指す方々への機会の提供、第二創業等新事業への進出の支援を担える機能を果たして参りたいと存じます。このため、我々は「燃える集団」となり、中小企業の方々ははじめ市民の皆様から信頼され、頼りにされる産業創造財団にしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

市から財団にエール

「ネクストステージ」創刊に寄せて

このたびは、財団法人さいたま市産業創造財団情報誌「ネクストステージ」の創刊おめでとうございます。我が国の産業は、景気回復の遅れや経済のグローバル化、少子高齢化の進展などにより、大きな転換期を迎えており、本市におきましても、この波は避けられず、本市の特性を活かした戦略的な産業振興を図ることが重要な課題となっています。

こうした中、本市では、地域産業の活性化は、中小企業の皆様の飛躍が不可欠であると認識しており、企業が抱えるあらゆる経営課題に対応し、強力にバックアップする責

さいたま市環境経済局長
木内 一好



財団の活動に大きく期待しているところです。

貴財団におかれましては、中小企業支援の核として、企業のニーズに対応した事業を展開し、名称である「産業創造」に寄与していただくとともに、中小企業の皆様から多大なる信頼を得られる組織となりますよう心から祈念いたしまして、創刊の祝辞といたします。

偉大な経営者に学ぶ

プロジェクトマネージャー
山下 格



これまでに色々な経営者の方に接し、学んだことが多くありました。私が民間企業で営業をやっていた昭和50年頃のことです。福岡で創業し、関東でもロイヤルホストを展開している株式会社ロイヤルの江頭匡一創業者の成長初期のことを思い出します。福岡で、ある程度地盤を固めたロイヤルは、いよいよ全国展開に向けて動き出しました。そこで打った手は教育センターの建設でした。更なる急成長を実現するための店長の育成とコックやフロアマネージャーといった現場の人材を、マニュアルに沿ってこなしていく仕組みを完成させるのが狙いでした。株式公開もしていない当時のロイヤルにとって、数億円の投資は大きかつ

働くとは 「傍(はた)を 楽(らく)にする」

サブマネージャー(経営)
高澤 彰



「どうやって食べているの？」とよく聞かれます。経営コンサルタントである中小企業診断士とはそういう疑問を呼び起こすようです。一般的に多い仕事は、コンサルティング、研修、執筆などです。

ある機械メーカーの経営者と案件の打ち合わせをしていたときです。その企業は、ものづくりに対しては自信を持っていたのですが、販売に対してはまったく手つかずの状態でした。それならまず販売要員がいなければ話は進みません。

誰かいないのか話し合っているうちに、ご子息の話が出てきました。ただ、別の会社に就職しており後を継ぐ予定はないとのこと。突っ込んで聞くと、後を継いでほしいということがわかってきました。それならば、ご子息と話をしてみたいので飲みに行こうという話になり、早速翌週に会うことになりました。

今、その企業はご子息が後継者としてがんばっています。こちらもおかげか？継続指導をさせていただいております。

働くという字は、人が動くと書くので、動くことが大事だとよく聞きます。もともとは大和言葉の「傍(はた)を楽(らく)」から来ており、仲間のためにわがまを捨てて動くことのようにです。

どういう形でお役に立てるか、状況に応じて変わってきますが、そういう意識を常に心がけがばっていきますので、よろしくお願いいたします。

生涯現役を!!

サブマネージャー(IT)
萩野 博志

たはずです。先を見て自社の課題は何かを見極め、意思決定する経営者の姿をそこに見ました。

山口県宇部市郊外の少し高台に位置する、ユニクロの柳井正社長(当時)のところへお邪魔したのが、店舗数が80店舗くらいの平成5年頃のことです。今ではすっかり有名になった、ボタン以外は全て中国を中心としたアジアでの生産方式を聞かされたときは本当に驚きました。このボタン以外は、といった点に品質重視且つ効率生産追求の理念を感じたものです。ファッション産業で東京に拠点を置かず、地方発で頑張る姿をみると、経営にはあえて不利な条件に身を置くことも大事なことも知れません。偉大な経営者から学ぶことは、経営者の事業に賭ける情熱に加え、人と違った着眼点と行動力にあると感じております。

プロジェクトマネージャーの業務を通じ、個性のある素晴らしい経営者との出会いを楽しみにしております。

熊本で生を受け、福岡で少年時代・学生時代を、東京で青年・往年時代の激しい生存競争に明け暮れた昔の文学青年は、還暦を過ぎたいま、さいたま市で中小企業の活性化に挑み、最後の花を咲かせようと老骨に鞭打っている。これとて趣味のない無粋な男は、ただ一つの楽しみである翻訳文庫の初版本の古書を買ひあさり、欧米のSF(科学・空想小説)もの、探偵小説、英国の冒険小説を中心とした、少なからぬ蔵書を自慢しても、女房からは汚らしいから捨てろといわれ、初版本の価値を知らぬ愚か者めと憤慨しています。

子供のころは、水前寺公園から湧き出る清水から成る画図湖(えずこ)で泳ぎを覚え、学生時代は陸上(跳躍中心)や登山(ハイキング程度)で鍛え、身体は極めて健康であり、いわゆる病気で入院の経験はまったくなく、人が苦しむ腰痛、肩こり等にも無縁であり、超人間を標榜することも辞さぬ構えです。

「生涯現役」が人生の基本方針であり、老け込むことに徹底抗戦しています。これは気持ちの持ち方であり、当財団では理事長の次に年長であるが、よく歩くこと、常に考えることの二つをいつも心がけています。私が行っている研修の主眼は、知識教育ではなく、考えることの訓練です。これは当財団の運営に絶対に必要な要素であり、この方針に従って、さいたま市の中小企業活性化に寄与したいと考えています。



常務理事
墨江直彦

職員一同心を込めて

本年4月1日から常務理事に就任いたしました。

さいたま市は首都圏の30km圏内にあり、鉄道・道路交通網の結節点であることに加え、昨年4月の政令指定都市への移行により、名実ともに埼玉県を中心都市から、首都圏の中核都市・中枢都市として経済的にもますます発展が期待されています。

このような恵まれた環境を、今後の創業や起業に活かしていただきたく、財団として市内の経済振興や中小企業の皆様への支援策などで、ぜひ、お役に立ちたいと考えており、職員一同心を込めて応援させていただく所存でございます。

そのためにも日頃から、当たり前ですが明るい職場環境と、きちんと「あいさつ」の出来る職員を目指しており、皆様のご期待に添えるものと確信しております。

財団役員はこんな人です

10問10答インタビュー

当財団の役員を、2回に分けてご紹介します。今回は理事8名・監事2名、9月号では評議員10名をご紹介します。

- 1) モットー 2) 今までに一番嬉しかったこと 3) 今までに一番悔しかったこと 4) 持ち味(仕事でも遊びでも) 5) 趣味
6) 気分転換法 7) 勝負に負けたら 8) 人生の転機 9) 好きな言葉 10) 当財団にズバリ「一言」!

理 事

太田 昇
NPO法人 さいたまSOHO起業家協議会 理事長
昭和50年武蔵野総業株式会社を設立。
平成元年より創業支援施設を開設・運営する起業家育成の第一人者。

- 熱意と感謝
- 入居起業家が新聞記事に掲載されたり、順調に成功されたとき
- 独立起業時に「団地でビジネスができるのか」と嘲笑されたこと
- 粘っこい、あきらめない、明るく元気
- NPO活動(起業支援!)
- 本業とNPO活動をバランスよく行うことが気分転換になっている
- スバッと切り替えて次にトライ
- 大きなクレームを乗り越えたこと
- 念ずれば花開く
- 多くの人が集まりネットワークの広がる場!

「熱意あふれる笑顔の熱血漢」とも言おうか。趣味は起業支援そのもの。そのルーツは自らが独立起業してきたとき感じた悔しさ・嬉しさにあるのかも知れない。

木内 一好
さいたま市環境経済局長
さいたま市職員として長年環境分野で活躍。政令指定都市「さいたま市」の初代環境経済局長。

- 環境と経済の両立
- 孫の誕生(子よりも嬉しい?)
- 性格柄、あまり悔しいと感じることはない
- クヨクヨせず、前向きに
- ゴルフ
- ガーデニング
- あまり引きずらず次へ
- 工業系の会社に就職するつもりが親父の一言で市役所へ
- 初心忘れるべからず
- 大いに期待、燃える集団になれ!

産業振興ということのみ目を向け「環境」をおろそかにしたのは、本当の発展はないという。環境と経済の両立という難解なテーマに対し、真っ向から取り組む。

佐藤 敏郎
さいたま商工会議所専務理事
平成16年4月より現職。当財団と商工会議所とのパイプ役。支援機関同士の連携になくてはならない存在。

- 毎日毎日を大切に。健康で
- 3市合併の2年半後、さいたま商工会議所が順調に発足できたこと
- 昨年の阪神の優勝。川上時代から熱烈な巨人ファン
- 楽天的。切り替えが早い。ノーテンキ
- スポーツ観戦
- 推理小説(西村京太郎)、ゴルフ
- あきらめる、しょうがない
- 10年前の大病。人生観が変わり、一日一日を大切に...と考えるようになった
- 自然体
- 商工会議所と違った路線で、21世紀の産業を創造せよ!

繊細にして剛毅。礼儀正しく武士のよう。安易な妥協をすることなく、問題の本質に目を向ける。

須田 彬
(財)埼玉県中小企業振興公社専務理事
埼玉県職員として多くの部局を歩む。平成16年4月より現職。昨年まではSKIPシティ新事業センター担当役員。

- 時代の風潮に流されない
- 「1番」と言われると答えに窮する
- 多々あるので...
- 愚直・真面目・いい意味でのいい加減さ
- 囲碁、猫の額ほどの庭の手入れ
- 草むしり&土いじり
- 天命と思いあきらめる
- 特になし
- 反骨(権威におもねない)
- 中小企業が求める真のニーズは何か、十分に調査研究せよ!

草むしり・土いじりをしながら時代を見据えた「次の一手」を練ることも。穏やかな表情の裏にはまわりに流されない強い意志が潜む。

服部 圓
服部地質調査(株) 代表取締役
前埼玉県地質調査業協会会長。地質コンサルタントとして環境問題にも取り組む。

- 明るく楽しく前向きに
- 医者に「出産できない」と言われたほど体が弱かったが長女と長男を出産できた
- 主人(前社長)が経営の途中で亡くなったこと。(主人にとって一番悔しかったのでは)
- 明るく元気、パカの得?
- お料理(将来はおばあちゃんのごはん屋??)
- オペラをききながらのドライブ
- あきらめる(そこにはエネルギーを費やさない)
- 夫の突然の事故死
- 今からここから
- 目利きをしっかり。さいたま市に根付く企業を支援せよ!

「パカの得」というのは、恥じることなく人に物をたずねたり、まわりのサポートを素直に受け入れることができるという意味とのこと。趣味では新しい料理を創造する。

吉澤 正彦
埼玉りそな銀行法人部新事業支援室 室長
旧あさひ銀行支店長の経験から、さいたまの産業を知り尽くす。埼玉りそな新事業支援室の初代室長。

- 何事にも明るく前向き
- 支援した企業が成長し、感謝を受けたこと
- 自分の思い、考えが相手に理解されなかったこと
- 明るく世話好きでフットワークが軽い
- ドライブなどアウトドア派
- 歌って発散(サザン)
- 敗因を分析し次につなげる
- 埼玉県創造的企業投資育成財団(SAFIC)に出向しベンチャー支援にたずさわったこと
- トライ&エラー
- 日本一の財団になるべし

明るく前向きをモットーに、持ち前の行動力でさいたま中を駆け回る。従来の固定観念にとらわれない発想で、「サービスの質を日本一に」ともくろむ。

監 事

北村 眞治
税理士法人 北村会計 会長
昭和50年に税理士登録。税務という現場の最前線で企業をサポートしてきた。

- 前進あるのみ
- 税理士試験の合格通知受領
- バブル崩壊による資産損失(?)
- 早期決断(損もした...)
- ゴルフ、写真
- 趣味の実行
- 次回に期待する
- 脱サラしての税理士開業
- 人に正直
- 原価を脳裏に民に徹する

超多忙の毎日だが、趣味の写真のためとあらば時間を捻出して車を走らす。そんな持ち前の行動力と決断力で、お客様の問題解決に取り組んできた。

星野 敏
(財)日本立地センターインキュベーション研究所長
インキュベーションマネージャーとして長期にわたり活躍。芝浦工業大学客員教授を兼任。

- 人生を心豊かに楽しく過ごす
- 家族が病から回復したとき
- 人にだまされたこと
- 新しいことには興味をもつ
- 昔クルージング、今セスナ機
- 海外旅行
- 再挑戦
- 「内なる世界」という価値観を知ったとき
- 人感機敏
- さいたま市独特の試みを! 県単位事業のコピーならしても意味なし

海では航海士、空ではセスナ操縦士。そして陸ではインキュベーション・マネージャー。通ずるのは冷静な判断力と大胆な決断力。そして言葉にできない大きな感動。

渡辺 伸治
㈱渡辺製作所 代表取締役
平成3年現職に就任。お客様の期待を超える企画・提案・技術力で経営革新し続けてきた。

- 今できること、少し背伸びすればできる当たり前のことをとことんやる
- わが社の一大転機に提案が採用されたこと
- 若くして亡くなった母親に何もできなかったこと
- ひとつひとつ地道に問題を解決していく
- ゴルフ、釣り、スキー
- 一人になる
- 負けの中でも立つ瀬を考え実行。立つ瀬がないときは「ジー」としている
- 母親が亡くなったとき、これからは自分1人であるとはっきり自覚できたこと。継ぐ予定のなかった会社を引き継ぎ、自分をかえなくっちゃと思った
- 場を清め、時を守り、礼を尽くす
- 当財団にしかない他にはないサービスを!

15年ほど前、同業他社に先がけて会社の命運をかけた事業転換を実行。それがなければ今はなかったと言う。原動力は、会社の目的は「従業員の雇用を守る事」という強い理念。

福田 輝夫
さいたま市収入役
平成9年に与野市役所収入役に就任。以後、3市合併に伴いさいたま市の初代収入役となる。

- 物事には誠実にあたる
- 最近ではレッスのナビスコ杯制覇(観戦していた)
- ...すぐには思い出せない
- 相手の話をよく聞く
- サッカー観戦、写真
- 写真(山を歩いて風景や高原植物を撮影)
- 技術を磨いて再挑戦することあれば潔くあきらめることも
- 昭和52年、秘書課に配属となったこと
- 誠実
- 差別化戦略で期待に応えよ!「~のことならさいたま市!」

様々な課所を経験。どの課所でも共通して言えるのは、相手の声に耳を傾けて誠実に対応することという。サッカー・写真、そしてさいたまをこよなく愛す。

さいたま市産業創造財団って？.....（財）さいたま市産業創造財団の全貌。支援内容を徹底紹介。

経営課題の度合いに応じた支援メニュー 素早い対応がモットー

財団は頼れる身近なアドバイザー

私どもは、経営課題に果敢に立ち向かう経営者の方をサポートします。課題の大小に関わらず、まずはご相談ください。支援課では常設の相談窓口を設けており、経営者やこれから創業する方のお悩みに対応します。頼れる身近なアドバイザーとしてぜひご利用ください。

TEL 048 851 6652

E-mail shien@sozo-saitama.or.jp

お気軽に！無料相談窓口

総合的な窓口から

相談窓口では、経験豊富なベテラン相談員が様々な経営課題についてアドバイスします。費用は無料で予約は必要ありません。（時間午前8時半～午後5時）

アイデアや技術はあるのにそれをどうビジネスに結びつけていいかわからない、新しい販路を開拓したい、売上げをさらに伸ばしたい...。こうした経営課題をじっくりお話してください。解決への手法をアドバイスします。



専門的な内容まで

また、経営課題が法律、会計、税務、労務その他の専門分野に及ぶ場合には、各分野の専門家が窓口相談を行います。こちらの相談は事前予約が必要となりますが、費用は無料です。さらに、適宜、様々な切り口のテーマで専用の専門家窓口を開設してサポートしていく予定です。

専門家はいずれも数多くの現場経験を持つ者ばかり。実務に直結するアドバイスをいたします。（相談員のプロフィールについては、今後財団のホームページにて紹介していく予定です。）

迅速・的確 専門家派遣

専門家として中小企業診断士、公認会計士、税理士、社会保険労務士、弁理士、技術士などに加え、企業経営または技術やマーケティングの実務経験者など数多くのプロフェッショナルが登録しています。こうした専門家が直接お伺いしてサポートいたしますので、より実状に即したアドバイスが受けられます。

また、150人以上もの登録専門家がいることから、経営の全般的な相談から、IT・特許に至るまで、高度な課題にも対応可能。派遣の回数も、2～3回の初期診断的なものから株式上場等を見据えた長期の派遣まで対応が可能です。

専門家派遣の費用 半日... 7,000円

1日...14,000円

地域密着が強い 産学官のネットワーク拠点へ

創業を強力にバックアップ

ベンチャー企業・創業者に対しても強力なメニューを用意。「窓口相談」では事業開始のイロハをアドバイス。あなたのアイデアをビジネスプランに落とし込みます。

「創業者支援セミナー」では創業の度合いに応じてノウハウを提供。事業を成功に導く方法を手厚く伝授します。ぜひご参加ください。

また、地域密着という強みを生かし、大学や金融機関とのネットワークの拠点となります。こうしたネットワークを駆使し、さいたま市の起業家予備軍を強力にバックアップします。

創業間もない方に、事務所入居のための家賃を補助します

市内の事務所に入居し、創業後2年以内で新規性・独創性・発展性などのある事業を行う、市内に本社がある法人、若しくは市内に住所を有する個人事業者の方々が対象で、事務所家賃の2分の1以内で1月あたり25,000円を限度に補助金を交付します。

補助金対象期間は、創業後2年以内の期間内で、かつ賃貸借契約開始の月から1年以内となります。申請時にすでに契約している場合は、申請月から補助対象となります。

（詳細は、支援課 創業者支援担当 TEL 048 - 851 - 6697 まで）

経営革新の資金を調達。財団は融資の窓口も。

融資を受けたい→金融課へ相談

財団は、さいたま市の委託に基づき中小企業融資業務を行っています。この融資制度とは、市内の中小企業者の皆様に、事業に必要な資金を低利かつ円滑に調達していただくため、市が金融機関に融資のあっせんを行う制度です。

融資を受ける際、業種によっては許認可等が必要な場合や、対象とならない場合があります。詳しくは、担当までご相談ください。

TEL 048 851 6391

E-mail kinyu@sozo-saitama.or.jp



さいたま市中小企業融資制度の 申込みの締切りについて

融資審査会開催予定日に伴う申込みの締切りは、下記により行う予定です。また、日程が急きょ変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

申込み締切日	審査会予定日
H16.7.8(木)	H16.7.27(火)
H16.7.23(金)	H16.8.9(月)
H16.8.5(木)	H16.8.23(月)
H16.8.19(木)	H16.9.3(金)
H16.9.6(月)	H16.9.22(水)

金融課では「セーフティネット保証」等の認定の受付も行っています

財団主催セミナーのご案内

ITセミナー

顧客満足を勝ち得る営業
～ IT活用をベースに～

どの業種にも共通する「営業」をテーマに、机上ではなく実務に直結したIT活用法を解説いたします。第1部は講演会、第2部では実際に業務ソフトを使用した説明会を行います。

講師 TMI主宰、TAMA産業活性化理事

高島 利尚 氏(中小企業診断士、ITコーディネータ)

日時 平成16年7月28日(水)

第1部 講演会 13:30～15:30

第2部 説明会 15:30～16:30

会場 さいたま市産業文化センター 3階 302会議室
(さいたま市中央区下落合5-4-3)

定員 30名

対象 さいたま市内の中小企業の方及びさいたま市内で創業予定の方

参加費 2,000円(上記対象者以外の場合は3,000円)

お問合せ・お申込先は

(財)さいたま市産業創造財団 支援課 小平・小池

TEL: 048-851-6652 FAX: 048-851-6653

E-mail: s-koda@sozo-saitama.or.jp

ご案内

ホームページのご案内

<http://www.sozo-saitama.or.jp>

財団ホームページでは、最新の活動状況や支援メニューをわかりやすくご案内しています。各種セミナー申込書のダウンロードも可能です。ぜひご利用ください。



編集部から

財団発足から早や3ヶ月。財団情報誌「ネクストステージ」、無事に創刊を迎えることができました。桜が咲いたと思っていたらもうすぐ夏本番。みなさんも健康管理にはお気をつけください。

さて、次号は9月末発刊予定です。「読んでためになる」情報満載でお届けします。お楽しみに。

ベンチャーフォーラム

～産業創造はベンチャーの創出から～

講演 「ベンチャー企業の役割と地域の活性化」

柳 孝一 氏(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授)

「夢の実現 株式会社スピード公開までのベンチャーの道のり」

堀江 貴文 氏(株式会社ライブドア代表取締役社長)

日時 平成16年8月27日(金)

講演: 14:00～17:00

ビジネス交流会: 17:00～18:00

会場 大宮ソニックシティ 4階市民ホール

講演: 第3・第4集会室

ビジネス交流会: 第2集会室

定員 150名

参加費 講演: 無料 / ビジネス交流会: 1,000円

お問合せ・お申込先は

(財)さいたま市産業創造財団 支援課 小平・松本

TEL: 048-851-6652 FAX: 048-851-6653

E-mail: s-koda@sozo-saitama.or.jp

ホームページ活性化セミナー

消費者心理をくすぐるホームページ講座
- 全3回 -

講師 藤田 幸江 氏(ネット活用倶楽部主宰、

All About Japan「ビジネスへのネット活用」ガイド)

日時 第1回 平成16年8月4日(水)

第2回 平成16年8月18日(水) } 3回シリーズです

第3回 平成16年9月1日(水) }

いずれも18:30～20:00

会場 株式会社アストン パソコン教室ルーム

(さいたま市南区南本町1-8-9 スカイビル6階)

JR京浜東北線 南浦和駅西口 徒歩2分

定員 20名

参加費 6,000円(全3回分)

お問合せ・お申込先は

(財)さいたま市産業創造財団 支援課 佐々木・小池

TEL: 048-851-6652 FAX: 048-851-6653

E-mail: t-sasa@sozo-saitama.or.jp

Next Stage 創刊号

2004年(平成16年)6月30日発行

編集・発行 財団法人さいたま市産業創造財団

URL <http://www.sozo-saitama.or.jp>

支援課 さいたま市産業文化センター4階

(〒338-0002 さいたま市中央区下落合5-4-3)

中小企業支援担当 TEL 048 851 6652

創業者支援担当 TEL 048 851 6697

総務担当 TEL 048 851 6696

FAX 048 851 6653(、共通)

E-mail shien@sozo-saitama.or.jp

金融課 さいたま市中央区役所3階

(〒338-8686 さいたま市中央区下落合5-7-10)

TEL 048 851 6391 FAX 048 851 6392

E-mail kinyu@sozo-saitama.or.jp

